

宇陀を駆けた人々

「松浦武四郎 篇1」

4

北海道の名付け親

平成30年(2018)は、伊能忠敬が亡くなって200年。また、松浦武四郎が生まれて200年。今回は、松浦武四郎をご紹介します。

節目を迎えようとしているもののひとつに「北海道」があります。北海道は、かつて「蝦夷地(えぞち)」と呼ばれていましたが、明治2年(1869)8月15日に明治政府によって「北海道」と命名され、150年を迎えようとしています。

この「北海道の名付け親」といわれているのが、松浦武四郎です。武四郎は、江戸時代の終わりから明治時代にかけて活躍した探検家で、6回にわたって蝦夷地の探検を行いました。生涯にわたり全国を歩き続けた旅行家、作家、学者、出版者でもあり、冒険心と多才ぶりを発揮しました。

武四郎は、文化15年(1818)、伊勢国一志郡須川村(現在の三重県松阪市小野江町)で生まれました。生家は「伊勢街道」沿いにあり、南は伊勢神宮へ、北は四日市の日永で江戸と京

都とを結ぶ「東海道」へとつながり、家の前を多くのお伊勢参りの旅人が行き交いました。

武四郎が13歳の頃にあつた「文政のおかげ参り」は、年間4000〜5000万人もの人々が参宮したといわれ、武四郎は街道を歩く多くの旅人に刺激を受け、「旅」を志すようになっていったのです。



松浦武四郎の生家と伊勢街道

16歳で突然、家を出て江戸への一入旅、17歳からは全国各地を巡りました。

なお、この生家は「市指定史跡 松浦武四郎誕生地」として整備され、見学することができます。



文・柳澤一宏(文化財課)

人権コーナー

DV(デートDV)ってなに?

「DV」とは、ドメスティック・バイオレンスを略したもので、親密な間柄で起こる暴力のことです。ストーリー事件や傷害事件などにエスカレートすることもある、相手の人権を侵害する行為です。そのなかでも交際相手からふるわれる暴力を「デートDV」といいます。

「なぐる・ける」だけが暴力ではありません。強い束縛で恐怖心を与えたり、心を傷つけることなども暴力にあたります。相手を思いどおりに支配しようとする言動や態度が「デートDV」なのです。

デートDVに気付いて!

- ・ 独占したり束縛したりすること
- ・ とが、愛情表現
- ・ 愛があれば暴力は許される
- ・ 強引なくらいが男らしい 従順なほうが女らしい
- ・ 恋愛はドラマティックなもの
- ・ そんな思い込みから、「支配」を「愛情」と誤解してしまい、なかなか「デートDV」に気付くことができないこともあります。
- ・ 【好きなのに「なんだかツライ」「怖い」「嫌われたくない」】

【相談窓口】

市役所 人権推進課

☎ 82・2147

女性の人権ホットライン

☎ 0570・070・810

奈良県女性センター

☎ 0742・27・2300



- ① より良い関係を築くために、暴力を認めない
↓暴力は許されるものではありません。嫌なことは、はっきり「いや」と言っているのです。
- ② お互いを大切にする
↓あなたの「自分らしさ」を大切に、相手の「自分らしさ」をも尊重しましょう。
- ③ 一人で悩まず相談しましょう
「これってもしかしてデートDV?」と思ったら、一人で悩まずに、親や先生などに相談しましょう。もし友達が悩んでいるたら友達の話をつくり聞いて「あなたは悪くない」と伝えてあげましょう。そして大人や相談窓口に勇気を持って相談するよう勧めてください。